

ICT 利活用教育通信

No. 01
令和3年11月26日 発行
佐賀市教育委員会
学校教育課 ICT 利活用教育係
担当：福地

学校を訪問させていただいた際に、1人1台端末を活用した授業を参観させていただく機会が少しずつ増えてきました。各学校で実践を重ねていただく中で、先生方のICTを活用した指導のアイデアが広がりつつあるのを感じています。このような佐賀市の先生方の実践や他市町での実践などをご紹介します。「うちの学校でもやってみたいけど、どうしたらいいの?」と思われた際には、ぜひICT支援員やICT利活用教育係にご相談ください。

また、佐賀市のICT環境を活用した取組を今後もぜひ参観させてください。特別な取組や先進的な取組等でなくて構いません。普段のICTを活用した授業の様子などを参観させていただき、その成果や課題と思われることなどの声をお聞かせください。先生方からのご連絡お待ちしております。(こちらからご連絡させていただく際もよろしくお願いいたします。)

「キューブきっず」で楽器演奏

西川副小の4年生の音楽科の授業で、小学校で導入している「キューブきっず Ver.6 タブレットモード」の楽器演奏機能を利用して、鍵盤ハーモニカ、木琴、鉄琴などを選択し、「茶色のこびん」の旋律の拍やリズム、音階を学んでいました。タブレットを使ったパート練習を重ねて、実際の楽器演奏に生かすことが活用のねらいです。マスクをしたままでも吹かずに鍵盤ハーモニカの音を鳴らして音階を確かめることができるので、コロナ禍における学習の手立てとしても有効だと思いました。タブレットでは、音の大きさを調整したり、楽器の階名表示のON/OFFを切り替えたりすることもできます。



「SKYMENU」のカメラ機能で技の確認

富士小の3年生の体育科の跳び箱運動の授業では、「SKYMENU」の追っかけ再生機能を活用して、児童が技のできばえを確認しながら活動していました。カメラを台の上などに設置して追っかけ再生にすることによって、先生や子どもが録画操作や再生操作を行う必要もなく、活動の流れを切らずに連続して実技と技の確認を行うことができました。設置する場所を工夫し、その意図を子どもたちと共有することによって、子どもたちが自分で確認したり、友達にアドバイスしたりする際の視点が明確になります。



「SKYMENU」の共有機能でオリジナルの生態系マップづくり

川副中の3年生の理科の授業では、1人1台端末を使って、有明海的环境やそこに住む生物を調べ、オリジナルの生態系マップを作成していました。授業の導入で「Teams」を使った小テストを行って既習内容を確認したり、「SKYMENU」で共有したフォルダにあるデータ資料を活用して生徒一人一人が発表ノートにまとめたりする授業が展開されました。フォルダには、有明海で見られる生物の写真、干潟の環境を示す背景などのたくさんの資料を先生が予め準備されており、今後も活用できそうです。校内研授業として実践され、研修会では先生方が担当されている教科での活用について活発な意見交換がありました。

